

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	炭酸ジメチル
製品コード	FI-B11-0014
供給者の会社名称	宇部興産株式会社
住所	105-8449 東京都港区芝浦1丁目2番1号 シーバンスN館
担当部門	ナイロン・ファイン事業部 ファインケミカル営業部
電話番号	03-5419-6175
FAX番号	03-5419-6255

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分2 自然発火性液体 区分外
健康有害性	急性毒性（経口） 区分外 急性毒性（経皮） 区分外 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分外 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分外 皮膚感作性 区分外 生殖細胞変異原性 区分外 生殖毒性 区分外 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分外 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分外 吸引力呼吸器有害性 区分外
環境有害性	水生環境有害性（急性） 区分外 水生環境有害性（長期間） 区分外 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H225 引火性の高い液体及び蒸気
注意書き	
予防策	熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 (P210) 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。(P241) 静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)
対応	火災の場合：粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、ハロゲン化物消火剤、泡消火剤を使用すること。(P370+P378)
保管	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)
廃棄	内容物/容器を国・地域のすべての法規に従い廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
炭酸ジメチル	99.0%以上	CO(OCH ₃) ₂	(2)-2853	公表	616-38-6

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で15分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、炭酸ガス消火剤、ハロゲン化物消火剤
使ってはならない消火剤 特有の消火方法	棒状注水 延焼の恐れがないように水スプレーで周辺を冷却する。 初期の火災には炭酸ガス、粉末消火剤で消火する。 大規模火災では水の噴霧、又は耐アルコール泡を使用する。 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。 移動不可能なときは、散水して容器を冷却する。
消火を行う者の保護	風上から消火する。 空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋等を着用して消火作業をする。 二次災害を起こさないように消火作業をする。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 具及び緊急時措置	風下にいる人を退却させ、赤旗を立て、ロープを張って危険区域を明示する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び 機材	大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、ポンプで汲み取る。 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	取扱いは換気良好な環境のもとで、直接皮膚や目に触れないように保護手袋、保護眼鏡等を着用して取り扱う。 蒸気を吸わないように保護マスク等を着用する。 『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項	火気厳禁。
衛生対策	取扱者には本品の物理化学的性質、安定性及び反応性、有害性、環境影響等の教育をし、「7. 取扱い及び保管上の注意」の項を遵守する。
保管	
安全な保管条件	酸化剤から離して保管する。 冷所に保管し、日光を遮断すること。 火気厳禁。直射日光、高温物を避け、換気良好な暗所で、容器は密栓し漏洩しないように保管する。 容器に衝撃を与えない。
安全な容器包装材料	ステンレス製容器 鋼鉄ドラム

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
炭酸ジメチル	未設定	未設定	未設定

設備対策 取扱いは出来るだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用す

る。
作業所の近くに洗眼、手洗い、洗身設備を設け、見やすい箇所に表示する。

保護具

呼吸器の保護具	空気呼吸器、循環式酸素呼吸器。 有機溶剤用防毒マスク
手の保護具	耐有機溶剤用保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡、ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	保護服、不浸透性保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	液体
形状	液体
色	無色透明
臭い	心地よい芳香臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	4.65 °C (101.3 kPa)
沸点、初留点及び沸騰範囲	90.35 °C (101.3 kPa)
引火点	16.7 °C (1013 hPa (close cup))
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
燃焼又は爆発範囲	
下限	データなし
上限	データなし
蒸気圧	7570.4 Pa (25 °C)
蒸気密度	データなし
比重(密度)	1.0633 g/cm ³ (25 °C)
溶解度	水: 114.7 g/L (20 °C) エタノール, エーテル: 可溶 酸, アルカリと混和し, 大部分の有機溶剤に溶ける。
n-オクタノール/水分分配係数	Log Kow=0.354 (20 °C)
自然発火温度	458 °C (1013 hPa)
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	0.585 mPa・s (20 °C)
動粘性率	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常温度、気圧下では特別な反応性は知られていない。
化学的安定性	常温、常圧下では安定である。引火、爆発の恐れがあるため、着火源のそばに置くことや高温状態は避ける。
危険有害反応可能性	酸化剤と接触すると、非常に激しく反応する。
避けるべき条件	火花、裸火、静電気火花
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性

経口	ラットLD50: >5,000 mg/kg bw (OECD 401)
経皮	ウサギLD50: >2,000 mg/kg bw (OECD 402)
吸入	吸入(蒸気): ラットLC50: >5.36 mg/L/4h (OECD 403)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギ: 刺激性なし (OECD 404)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギ: 刺激性なし (Japanese MAFF guideline/59 NohSan No. 4200)

皮膚感作性	モルモット：皮膚感作性なし (OECD 406)
生殖細胞変異原性	エームス試験：陰性 (OECD 471) 染色体異常試験：陰性 (OECD 473) 遺伝子突然変異試験：陰性 (OECD 476)
発がん性	データなし
生殖毒性	ラット一代繁殖毒性試験 (500 mg/kg bw/day 投与、OECD 415) で親への影響、子供の成長・行動への影響は観察されなかった。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	急性毒性試験 (経口、経皮、吸入) で、影響は認められなかった。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	ラット90日間、500 mg/kg bw/day 経口投与試験 (OECD 408) で臓器等への影響は観察されなかった。 NOEL : >500 mg/kg bw/day NOAEL : >500mg/kg bw/day NOAEC (吸入) : 3684 mg/m ³

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性)	魚類 (Danio rerio) 96h-LC50 : >100 mg/L (OECD 203) 甲殻類 (Daphnia magna) 48h-EC50 : >100 mg/L (OECD 202) 藻類 (Pseudokirchnerella subcapitata) 72h-ErC50 : >100 mg/L、 72h-NOEC : >100 mg/L (OECD 201)
水生環境有害性 (長期間)	甲殻類 (Daphnia magna) 21d-NOEC : 25 mg/L (OECD 211) (分解性) 良分解性 (86 % by BOD, 28日間) (OECD 301C) (生体蓄積性) logKow=0.354 (20 °C) (OECD 107)、難水溶性でない (水溶解度 : 114.7 g/L, 20 °C)

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	産業廃棄物処理法、水質汚濁防止法等の関連法規に適合した処置をしてから廃棄する。
汚染容器及び包装	処理能力のある公認された産業廃棄物処理業者に依頼する。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	I M Oの規定に従う。
UN No.	1161
Proper Shipping Name	DIMETHYL CARBONATE
Class	3
Packing Group	II
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code	Not applicable
航空規制情報	I C A O / I A T Aの規定に従う。
UN No.	1161
Proper Shipping Name	DIMETHYL CARBONATE
Class	3
Packing Group	II
国内規制	
陸上規制	消防法、道路法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	1161
品名	炭酸ジメチル
国連分類	3
容器等級	II

海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	1161
品名	炭酸ジメチル
国連分類	3
等級	II
特別の安全対策	消防法危険物としての基準に従う他に、輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
緊急時応急措置指針番号	129

15. 適用法令

労働安全衛生法	危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）
消防法	第4類 第一石油類（非水溶性）
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法	引火性液体類（危規則第3条危険物告示別表第1）
航空法	引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法	その他の危険物・引火性液体類（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）
道路法	車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	（廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの（平10三省告示1号）
化学物質管理促進法	該当しない
労働安全衛生法	第57条の2名称等を通知すべき有害物に該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない

16. その他の情報

連絡先	品質保証部 化学品品質保証グループ 電話番号：0836-31-3458 FAX番号：0836-31-3165
記載内容の取扱い	記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。